

平成19年11月20日

左京区 伝統行事 ネットワーク かわらばん

第5号 発行：左京区役所区民部総務課

左京区役所では、平成18年度から区の独自事業として「左京に息づく伝統文化の保存・継承と観光振興～京都創生へ左京から～」に取り組んでいます。

今年度は次の2つを柱に取り組を進めています。

●「左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議」の開催

◆伝統行事の映像記録DVDを活用した情報発信の充実

裏面へ

●「左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議」の開催

昨年度に発足したネットワーク会議における保存会等の皆様との連携・協力を更に進め、伝統行事を保存・継承するに当たっての課題等について情報交換を行っています。

第7回 ネットワーク 会議

日時：平成19年10月19日（金）午後2時～3時30分

場所：左京区役所 第2会議室

内容：講演「伝統行事と国際交流」、意見交換・情報交換

参加：9団体13名（一乗寺郷土芸能保存会、市原ハモハニ講中、大原伝統文化を守る会、上高野念仏供養踊保存会、北白川伝統文化保存会、大文字保存会、花脊松上げ保存会、八瀬郷土文化保存会、吉田剣鉾保存会）

講演「伝統行事と国際交流」龍谷大学 非常勤講師 許仁教（ホー イン キョウ）さん

○私は韓国から留学生として来日し、農村研究で歩き回っている時に、偶然一乗寺八大神社の剣鉾に会い、そこで見た「活気」「誇らしさ」「楽しみ」「絆」をきっかけとして、祭りの研究を始めた。

○特に剣鉾差しの技は決して教科書では学ぶことのできない知恵の蓄積であり、これを受け継いできた地元の強い絆に大変な感動を覚えた。

○活気に満ちた一乗寺の祭りに感銘を受けた一方で、最近は行事を担う若手が不足しているということを知り、少し悲しい気持ちにもなった。

○日本に比べると今の韓国には伝統行事が殆ど残っておらず、最近、多くの韓国の若者が日本の伝統行事の保存・継承の姿を手本にするために日本に来て伝統行事の調査研究をしている。

○韓国の田舎の農村で生まれ育った自らの経験から言うと、伝統行事とは生活・生業の中から生まれてきた生き物であり、常に生活と一体のものとして保存・継承されてきたと考えられる。

○かつての農村の生活は、稲作を生業としており、伝統行事もこの稲作を土台とし、この流れにあわせて行われてきた。しかし、現代の社会では、生活と生業とが分離され、生業が地元とまったく関わりを持たない時代となったため、伝統行事の保存・継承が非常に難しくなっていると考えられる。

○昔の農村における稲作の流れでは、最初に田んぼや道路・水路の整備、次に田植え、その後は水の管理や虫の駆除、収穫という流れがあり、それぞれの節目では必ず村の共同作業を行ってきたが、この共同で行うということが伝統行事の継承に大きく影響したと思われる。 （裏面へ続く）



○韓国では祭りを「クッ」と言い、「神様への感謝、願い」の場であるとともに、この「クッ」の機会を利用して「上下関係の確認」、「次世代への教育」、「分配の改善」なども行われた。

○昔は、学校と村とが教育機能を分担しており、特に学校教育で学べない自然との関わり方や知恵の蓄積は、この「クッ」の時に年配の者から幼い子どもへと受け継がれていた。

○今の伝統行事の姿について、私なりに2つの言葉で表現してみると、「誇り・希望→誇りはあるが、希望はない」、「物・人→物としての形はあるが、それを担っていく人がいない」、「観客・担い手→観客として集まる人はいるが、引き継いでいく担い手が集まらない」、「過去・未来→長い歴史としての過去はあるが、これからどうなっていくかの未来はない」、「伝統・理解→伝統は存在するが、周りの人からの理解はない」ということになる。

○私は生き物本来の目的には楽しみがあると理解しており、共同体の絆を深めるきっかけとしての行事の中で欠くことができないのは、楽しむことだと思う。伝統行事を次の世代に受け継いでいくためには、いかにして行事中の「楽しみ」を現代の若者に伝えていくかが鍵になるだろう。



質疑応答、意見交換・情報交換

【吉田剣鉾保存会】吉田地域の氏神である「木瓜大明神」は、「きゅうり」と書いて「こうり」と読むのであるが、こうした読み方などにも中国や韓国からの影響があると思うと非常に興味深い。

【花脊松上げ保存会】花脊は交通アクセスが非常に悪いにも関わらず、最近ではヨーロッパやアメリカからも松上げを見に来る人がいる。一方では後継者不足が問題となっており、大変危惧している。

【大文字保存会】最近では海外からも多数のボランティアを受け入れているが、山の手入れをはじめとした準備段階から参加させることで、保存・継承の意味を理解してもらうように努めている。

【北白川伝統文化保存会】一昨年頃、芋の食文化を持つベトナムからの留学生が「北白川高盛御供」の研究のために準備段階から参加し、非常に感激して帰っていったことがあった。

【上高野念仏供養踊保存会】日本の伝統文化に対する韓国からの影響は非常に大きいと思うし、韓国文化は本当に素晴らしいと思う。機会があれば、我々の知らない韓国の話をまた聞いてみたい。

◆ 伝統行事の映像記録DVDを活用した情報発信の充実

区内の主な伝統行事・芸能を収録した映像記録DVDを活用して情報発信の充実を図り、伝統文化の保存・継承を支援するとともに、観光振興にも役立てていきます。

◆ 観光振興用DVD「左京を彩る伝統絵巻」の活用

- ・「火曜日は一日上映デー」（毎週火曜日 終日・左京区役所1階待合コーナー）
 - ・DVD貸出し実施中！（左京区役所総務課、ひと・まち交流館 京都 他）
- ※『左京区民ふれあいまつり2007』（12月16日（日）・京都市勧業館みやこめっせ）において、DVDの上映コーナーを設置する予定です。是非御覧ください。

